

37 - 39 熊本県における想定最大高潮に基づく高潮減災対策の策定

沿岸域環境科学教育研究センター 教授	滝川 清
熊本県土木部河川課	有働 人志
(株)建設技術研究所	後藤 雅之
(株)建設技術研究所	倉吉 一盛
アジアプランニング(株)	田淵 幹修

“防災施設”に頼る従来型の高潮対策の在り方を再認識させられた台風9918号による高潮・高波被害の教訓を生かすためには“ハード”と“ソフト”の両面から総合的な“高潮減災対策”を具体的に考える必要がある。その際、どの程度の高潮を対象に考えていくかが重要であり、そのために“想定最大高潮”という概念を導入し、その規模を具体的に示すことによって、高潮減災に取り組む“総合かつ具体的な施策”とその実施計画を提示した。特に、従来型の防災施設整備は、それら施策の中の一施策として位置付け、外の施策と合わせて総合的に高潮減災に取り組むという考え方を示したところに大きな意義がある。

(第51回海岸工学講演会論文集 pp.1326-1330, 2004年11月)